いざというときのために取り出しやすい場所に保管しておきましょう **保存版**

令和3年5月作成

大船渡市 吉浜地区 水害ハザードマップ

大船渡市では、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「大船渡市水害ハザードマップ」を作成しました。
自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難所や避難経路の確認など、家庭や地域内での防災の取り組みにご活用ください。

防災メモ

家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。避難先までにかかった時間や危険なところなどをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

●避難所・避難場所

第1候補	第2候補	第3候補
避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所
歩いて避難した場合にかかった時間　分	歩いて避難した場合にかかった時間　分	歩いて避難した場合にかかった時間　分

●家族の連絡先

名　前	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号	携帯電話番号

●いざというときの連絡先

名　称	電話番号
大船渡市役所	0192-27-3111（代）
東北電力（停電時）	0120-175-366
大船渡警察署	0192-26-0110（代）／**110**
大船渡消防署	0192-27-2119／**119**

名　称	電話番号
岩手県大船渡土木センター	0192-27-9919
NTT（故障・不具合時）	113（固定電話から）
	0120-444-113（携帯などから）

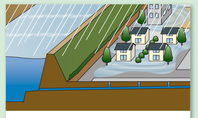
発行 大船渡市役所 〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15 TEL.0192-27-3111（代表）

洪水の発生するしくみ

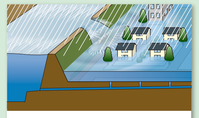
洪水には、降った雨が水路などで排水しきれなくなることにより起こる「内水氾濫」と、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する「外水氾濫」があります。洪水の発生するしくみを理解して、避難所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。

通常 → 内水氾濫の発生 → 外水氾濫の発生

通常、降った雨は水路などを通じて河川へ排水されています。



大雨が降り、排水能力が雨量に追いつかなかった場合に、内水氾濫が起こり始めます。



さらに雨が激しく降ると、堤防から水があふれたりする外水氾濫の危険性が高まります。

※その場で雨が降っていなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

雨の強さと降りかた

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量と予報用語	10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からのはね返りで足もとがぬれる。 ●水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●地面一面に水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量と同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。
※この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

土砂災害の種類と前兆現象

台風や地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地滑りといった土砂災害を引き起こす可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、市役所へご連絡ください。

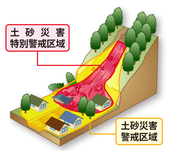
土砂災害の種類には、大きく分けて３つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、確認しておきましょう。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多くなります。

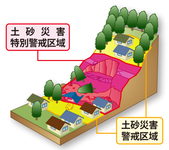
土石流

長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。



地すべり

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。



このような現象が土砂災害の前触れです

斜面にひび割れができる。

わき水の量が増える。

がけに亀裂が入ったり、小石が落ちてくる。

雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。

地鳴りの音が聞こえてくる。

川が濁ったり、流木がまざりはじめる。

がけから出る水がにごる。

地面にひび割れができる。

斜面から水が噴き出る。

上記のような現象が前兆現象のすべてではありません。また、前兆現象がない場合でも土砂災害が発生することもあります。

警戒レベル、避難情報等の発表と避難行動

大雨による災害が発生する恐れがある場合、避難指示などの避難情報等に加えて、情報の意味を直感的に理解し、自らの判断で避難行動ができるよう、５段階の警戒レベルに分けて情報を提供しています。
情報の意味を正しく理解し、「自らの命は自ら守る」といった心構えで、適切な避難行動をとってください。
また、避難先として安全な場所にある親戚・知人宅へ避難することも考えておきましょう。

今後、国や気象庁により変更される可能性がありますので、最新の情報を確認してください。

警戒レベル※1	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報（気象庁が発表）	避難情報等（大船渡市が発令）
警戒レベル5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警報	緊急安全確保※2
		警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※3	大雨警報	高齢者等避難
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	―
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	―

※1:各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。※2:災害の発生を把握できていない場合もあるため、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありませんのでご注意ください。※3:高齢者等以外の方も危険を感じたら自主的に避難してください。

情報の伝達経路

市からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。

インターネットによる情報の入手先

※NHK防災アプリ等でも河川の状況などを確認できます。

大船渡市
大船渡市の防災情報・避難情報の提供
▶ https://www.city.ofunato.iwate.jp/

国土交通省防災情報提供センター
リアルタイム雨量などの観測情報を提供
▶ https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

盛岡地方気象台
気象に関する警報・注意報を市町村ごとに発表
▶ https://www.jma-net.go.jp/morioka/

岩手県河川情報システム
盛川と須崎川、浦浜川の水位情報
▶ http://kasen.pref.iwate.jp/

岩手県土砂災害警戒情報システム
岩手県の土砂災害に関する情報
▶ http://sabo.pref.iwate.jp/dosha/

川の水位情報
洪水時の水位情報
▶ https://k.river.go.jp/

緊急時の連絡方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

●災害用伝言ダイヤル 171

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

〈体験利用日〉
●毎月1日・15日●正月3が日●防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）
●防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

災害用伝言ダイヤルの利用方法
1. 171をダイヤル
2. 録音は1　再生は2
3. 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
4. 音声ガイダンスに従い、録音／再生

●災害用伝言板（web171）

https://www.web171.jp/　左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板（web171）にアクセスすることで、テキストによる安否情報（伝言）の登録・確認を行うことができます。＊体験利用日は、災害用伝言ダイヤルと同様です。
※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

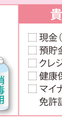
非常持ち出し品

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

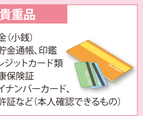
食料

日頃から、3日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。
- □ 飲料水（1人1日2～3リットルを目安）
- □ 非常食（缶詰、乾パン、レトルト食品など）
- □ 携帯食（チョコレート、キャンディーなど）
- □ 粉ミルクと哺乳瓶（赤ちゃんがいる場合）

救急・安全対策
- □ 常備薬（胃腸薬、かぜ薬など）
- □ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- □ 備薬、消毒薬
- □ 持病のある方の薬、お薬手帳
- □ ヘルメット、防災ずきん
- □ ホイッスル
- □ マスク
- □ 体温計



貴重品
- □ 現金（小銭）
- □ 預貯金通帳、印鑑
- □ クレジットカード類
- □ 健康保険証
- □ マイナンバーカード、免許証など（本人確認できるもの）



衣類など
- □ 衣類（厚手の物と薄い物）
- □ 下着類
- □ タオル、毛布
- □ 手袋、軍手
- □ 寝袋
- □ 雨具

日用品など
- □ ポリ袋（ビニール袋）
- □ 新聞紙
- □ ろうそく、ライター
- □ ナイフ、缶切り
- □ ティッシュペーパー
- □ ウエットティッシュ
- □ 懐中電灯（予備電池）
- □ 携帯ラジオ（予備電池）
- □ 携帯電話（充電器・バッテリー）
- □ 筆記用具（油性マジック）
- □ 洗面用具
- □ メガネ
- □ 使い捨てカイロ
- □ 紙おむつ
- □ 生理用品
- □ 布ガムテープ
- □ ロープ
- □ 地図（ハザードマップ）

感染症対策〈感染しない・させない〉

新型コロナウィルスに限らず、風邪や季節性インフルエンザなどの感染症対策として、一人ひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。風邪症状があれば、外出を控えるとともに、やむを得ず外出される場合には、マスクの着用を心がけましょう。手洗いや咳エチケットなど、以下のような注意点を参考に、感染しない・させないようにご協力ください。
また、感染症対策により避難所の受け入れ人数が制限されている場合がありますので、自宅の浸水しない階への垂直避難や、親戚や知人宅への避難など、避難所以外の避難先も検討しておいてください。

- □ こまめに手洗い・手指消毒
- □ 咳エチケットの徹底
- □ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- □ 身体的距離の確保
- □ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- □ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- □ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して早めの避難を心がけましょう。

状況により、早めに避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

浸水時に長靴は厳禁
避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩きにくくなります。動きやすい服装で避難しましょう。

避難する前にブレーカー等の確認を!
避難の際は、浸水による漏電や、電気火災の予防のためブレーカーを切ってから避難しましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

浸水時、自動車での避難は危険
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
※避難施設に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難指示などが発令されていても、がけや浸水区域から離れる（水平避難）だけでなく、近くの頑丈な建物の2階以上や自宅の2階といった高い場所へ移動（垂直避難）して救助を待つという判断も必要です。

危険な避難

避難場所への早めの避難（水平避難）

屋外へ避難できない場合 高所への避難（垂直避難）

●豪雨時（異常時）の屋内避難

災害では早めの避難が重要ですが、どうしても避難場所への移動が困難な時は、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中で少し安全な場所（がけから離れた部屋の2階など）に避難しましょう。

●土石流に直面したときの逃げ方

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。

避難所一覧

地　区	名　称	所在地
盛	盛小学校（屋内体育館）	盛町字沢川30
	リアスホール	盛町字下館下18-1
	下館下アパート集会所	盛町字下館下7-18
	県営みどり町アパート集会所	盛町字みどり町13-5
大船渡	大船渡地区公民館	大船渡町字明神前10-14
	大船渡中学校（屋内体育館）	大船渡町字永沢94-1
	県営赤沢アパート集会所	大船渡町字山馬越64-3
	富沢二区公民館	大船渡町字富沢39-19
	下船渡公民館	大船渡町字下船渡26-1
末　崎	ふるさとセンター	末崎町字平林81
	神坂公民館	末崎町字神坂17-2
	熊野神社（神坂）社務所	末崎町字神坂24-10
	小田まとまるセンター	末崎町字小田20-3
	梅神公民館	末崎町字高清水99-13
	門之浜地域公民館	末崎町字門之浜56-3
	碁石地区コミュニティセンター	末崎町字中森22- 1
	熊野神社	末崎町字中森17
	三十刈公民館	末崎町字大豆沢70-3
	碁石公民館	末崎町字大豆沢60-1
赤　崎	赤崎地区公民館	赤崎町字山口15-25
	赤崎中井公民館	赤崎町字中井38
	森っこ・洞川原地域集会所	赤崎町字大洞37-6
	大洞地域公民館	赤崎町字大洞111-2
	永浜地域集会所	赤崎町字大立 38-3
蛸ノ浦	フレアイランド尾崎岬	大船渡市赤崎町字鳥沢188- 7
	清水地域防災コミュニティセンター	赤崎町字清水53-15
	担い手センター（長崎地域公民館）	赤崎町字外口86- 2
猪　川	猪川小学校（屋内体育館）	猪川町字轆轤石23
	下久名畑公民館	猪川町字久名畑48-2
	前田公民館	猪川町字前田5-8
	しんしん館	猪川町字長谷堂127- 4
	県営長谷堂アパート集会所	猪川町字中井沢78-2
立　根	生活改善センター	立根町字関谷69-8
	町場地域公民館	立根町字萱中84-16
	和村公民館	立根町字猫足59-6
日頃市	日頃市地区公民館	日頃市町字関谷21-5
	鷹生地域多目的集会センター	日頃市町字下鷹生85- 4
	宿公民館	日頃市町字上宿32
	平山公民館	日頃市町字平山37
	長安寺	日頃市町字長安寺57
綾　里	綾姫ホール	三陸町綾里字平舘75-2
	三陸B&G海洋センター	三陸町綾里字黒土田56
	宮野地区多目的集会施設	三陸町綾里字中曽根110

地　区	名　称	所在地
越喜来	越喜来小学校（屋内体育館）	三陸町越喜来字小出24-4
	仲区公民館	三陸町越喜来字前田13
	泊区公民館	三陸町越喜来字小泊6-1
	龍昌寺	三陸町越喜来字甫嶺64
	崎浜公民館	三陸町越喜来字仲崎浜185-7
吉　浜	吉浜地区拠点センター	三陸町吉浜字上野93-1
	大野公民館	三陸町吉浜字大野58-4
	中通手前みそセンター	三陸町吉浜字川原2-13
	扇洞会館	三陸町吉浜字扇洞7
	千歳部落公民館	三陸町吉浜字千歳170-2

水害ハザードマップについて

河川浸水想定区域図等の前提条件

盛川水系盛川、盛川水系鷹生川
想定最大規模の大雨
指定の前提となる降雨：盛川流域2日間の総雨量766mm（岩手県 令和2年2月12日指定）

盛川水系中井川、盛川水系立根川
100年に1度の大雨
指定の前提となる降雨：盛川流域の2日間総雨量352mm（岩手県 平成18年9月29日指定）

●盛川浸水想定区域図（想定最大規模）および鷹生川浸水想定図（想定最大規模）は、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深を示した図面です。
●中井川および立根川の浸水想定区域図（計画規模）は、概ね100年に１回程度起こる大雨が降ったことにより各河川が氾濫した場合に想定される浸水深を示した図面です。
●各河川のシミュレーションの実施に当たっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮や内水による氾濫等を考慮していません。そのため、洪水浸水想定区域以外の区域で浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安となります。
※より詳しくお知りになりたい方は、岩手県ホームページをご確認ください。

土砂災害警戒区域等

土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊等が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域

土砂災害特別警戒区域
急傾斜地の崩壊等が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

●マップには、岩手県が指定した土砂災害警戒区域等、特別警戒区域など共に、県の調査が完了し、今後、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定する予定の区域も併せて表示しています。これら区域については、指定の際、形状が変更になる場合があります。
●マップで示した土砂災害警戒区域等以外でも土砂災害が発生する場合がありますので、注意してください。

避難訓練に参加しましょう
避難路の安全性の確保のために、地域の避難訓練に参加しましょう。
避難行動要支援者への支援方法についても、話し合うと良いでしょう。

大船渡市では、本マップとは別に、津波ハザードマップを作成しています。
津波に関する情報ついては、津波ハザードマップを確認してください。